

法遍寺 から大切な 皆様へ

2021年1月1日

日蓮正宗 年間方針

宗祖日蓮大聖人 御聖誕800年の年

法遍寺・天晴寺支部活動方針

人材育成と折伏実践

年間実践テーマ

① 日々勤行・唱題の実践

功德の源泉

一家和樂の信心

② 折伏実践こそ最善の報恩行

御命題達成

誓願成就

③ 寺院参詣と登山で人材育成

無始の罪障消滅

一生成仏

〒488-0881

愛知県尾張旭市城山町三ツ池6075-1

(TEL:0561-54-9226)

相談無料



2020年12月13日の御報恩御講の様子

慧光山 法遍寺(えこうざん ほうへんじ)について

住職 近藤道正

法遍寺は、静岡県富士宮市にある「多宝富士大日蓮華山大石寺」を総本山とする日蓮正宗の寺院です。日蓮大聖人様の正しき信仰を人々に弘め、ここ愛知地域の全ての人々が真の幸せをつかむ為に、総本山第67世日顕上人が開基となって、昭和57年6月18日法遍院として設立され、平成20年12月23日には改築され、法遍寺となりました。日蓮大聖人様の出世の本懐である三大秘法の大本尊に帰依(きえ)し、破邪顕正の布教活動をさせていただいております。

① 講中のみなさまへ

どんなに長いあいだ身を制して努力してきたとしても、不用意な一言で失敗したならば、それまでの功績も水の泡となることがあります。池上宗仲・宗長の兄弟は二六年かけて父の康光を折伏し続け、ついに入信に至らしめました。その間大聖人は、兄弟二人に対し激励を重ねられ、「兄弟抄」において次のように忠告をなされたのです。「一生の間、賢明であった人も、一言によって身を滅ぼす故事に習いなさい」(御書983頁・趣意)と。大聖人は古代中国の故事を挙げ、勘当や障害の中にあっても、父に対し孝養と節度を貫き、不用意な言動があってはならないと教訓されたのです。十字御書にも、「わざわざは口より出でて身をやぶる」(同1551頁)とあります。私たちは講中にあっても、また折伏にあっても節度ある姿勢を貫きましょう。

② 創価学会に籍を置くみなさまへ(創価学会破門の経緯を知らない方へ その5)

前号と同じく平成2年7月21日、池田名誉会長・秋谷会長が御法主上人に御目通りした折、日顕上人は両氏に対し、「7月17日の連絡会議の学会側の一方的な態度について、どのようなことか」と尋ねられたところ、秋谷会長は「今回は言わせていただくということで…」と弁解をし、それに対し日顕上人は同会議でなされた法主の発言封じの件について注意をなされました。しかし、秋谷会長が反省の色も見せないで抗弁したので、日顕上人は「法主の言に対する連絡会議での学会の態度は憍慢(きょうまん)謗法です」とたしなめられたのです。その翌月の連絡会議では宗門側より学会側に対し、批判内容の多くが事実を反するものとして指摘しましたが、それ以降も学会は是正することもなく、虚偽捏造の多い悪口を学会員に口コミで伝えていったのです。

(次号は11月のお目通りの様子)

③ 信仰は何のためにするかを知らない方へ

多くの人が信仰と聞けば、「心のよりどころ」「その人にとっての気持ちの問題」などの認識かと思えます。ここでまず申し上げることは、日蓮大聖人の説く仏法は、精神修養ではない、ということです。またこの世を絶望し現実逃避するものでもありません。仏様が説く真実の宗教は、幸福生活の指導原理であり、これにより一切民衆の苦を抜き、楽しみを与えることにあります。仏様は悟りの境界から一切の民衆を「わが子」とご覧あって化導なされました。そして釈尊の法華経は日蓮大聖人の出現とその化導を説いています。法華経は今の私たちのために留め置かれたのです。しかし、現実にはそれに背く宗教と名のつくものが蔓延しています。真実の仏法が説く幸福の絶対条件は、各人の生命そのものの治療にあるのです。日蓮正宗を訪ねてください。